

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		SQUARE		公表日		2025 年 3 月 15 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	○限られたスペースや空間を区切り、学習スペース・静養室・おもちゃスペース・運動スペースを分けて活動するよう試みている。 ○広く使いたい時には、動かせる設備（テーブル等）を動かす等の工夫をしている。	○学習スペースが狭い。活動によっては体を動かすには狭いときがある。 ○設備上取り払えない死角が発生する。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		安全や療育の充実を図るため、職員をできるだけ多めに配置するよう工夫している。	送迎等により、一時的にスタッフが少なくなる時がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	テーブルや棚にて各スペースの区切りを視覚的に伝える工夫をしている。	○細かい部分での視覚表示を増やしても良いと思う。 ○棚により空間を仕切っているため、学習・個別中の音の刺激は遮ることが難しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		○静養を希望する・または必要になる児童がいた場合や、着替えをする必要がある児童、静かな環境でお話する必要がある状況に備え、別室を準備している。	○すべての状況が複数名で重なった際に、部屋数が足りず対応が難しくなることがある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		ホームページにて公開している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		内部および外部研修が行われている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ホームページにて公開予定。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス支援計画を作成しているか。	8				
	13	放課後等デイサービス支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	放課後等デイサービス支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				計画の内容変更時の共有が浸透していないことがある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1			専門的支援の実施にあたり、標準化されたアセスメントツールの導入ができればと思う。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		打ち合わせが細かく行えないことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
	26	障害児児童相談支援事業所のサービス担当者会議や管家字機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		必要に応じて情報共有をおこなっている。	場合により、保護者の方を通じた情報共有のみになってしまうことがある。もっと積極的に児童についての情報共有をおこなう必要がある。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育・教育等の関係機関と連携して支援をおこなう体制を整えているか。	7	1		
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	必要に応じて情報共有をおこなっている。	保護者の方を通じた情報共有のみになってしまうことがある。もっと積極的に児童についての情報共有をおこなう必要がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		地域交流の場を設け、地域交流や地域移行支援に繋げていく必要がある。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝えあい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			

保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。	5	3	○家庭でできそうな対応などを共有させていただくことはある。	○研修等を通してペアレントトレーニングについての知識を深め、提供していく必要がある。
	36	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		昨年11月に保護者交流会を開催した。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		職員間の情報共有がスムーズではないことがある。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月おたよりや行事予定表を発行している。	SNSは滞り気味。活用していく。
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	8			
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8				
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			